



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 日本出版貿易株式会社
コード番号 8072 URL <http://www.jptco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 綾森 豊彦
問合せ先責任者 (役職名) 事業管理部総務部長 (氏名) 木村 樹

TEL 03-3292-3751

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,580	10.0	3	79.5	0		8	
2020年3月期第2四半期	3,978	6.5	17		20	22.2	6	15.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 7百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 1百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.71	
2020年3月期第2四半期	9.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	4,500	1,551	34.5	2,225.16
2020年3月期	5,987	1,580	26.4	2,266.53

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,551百万円 2020年3月期 1,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				30.00	30.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期の配当については、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大とその長期化懸念により、先行きの情勢を見通すことは困難な状況となっており、合理的な業績予想が算出できないことから、現時点において未定としております。業績予想の算出が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	700,000 株	2020年3月期	700,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,603 株	2020年3月期	2,603 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	697,397 株	2020年3月期2Q	697,397 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、業績予想を開示しておりません。なお、今後、適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益は大幅減少が続いており、雇用情勢や設備投資も弱い動き、個人消費など一部で持ち直しの動きがみられるものの、感染者数の動向によって予断を許さない状況が続いており、また欧米においては感染者数が増加傾向に転じていることから、経済活動が回復基調に乗るまでにはしばらく時間を要するものと思われま

す。当社グループにおける出版物・雑貨等の輸出事業は、ネット事業者向けにCD、語学書は堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、北米を中心とした図書館の閉館が続いている影響が大きく減収となりました。また、洋書・メディアの輸入事業は、ネット事業者向けの販売は好調に推移、衛生関連商品の売上も計上できたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、新学期における語学書の販売が振るわなかったことに加え、前年K-POPの大型新譜が相次いで発売されたことに対する反動減もあり、減収となりました。

利益面では、減収に比例して売上総利益が減少、経費につきましては変動費、固定費ともに圧縮に努めたものの、売上総利益の減少には及ばず、営業利益は減益となりました。新型コロナウイルス感染症の影響によりリアル店舗向けの売上が不振であった子会社の影響も受けております。

営業外損益に大きく影響を与える為替につきましては、前年同期が1百万円の為替差益であったのに対し、当第2四半期連結累計期間は円高の影響により1千1百万円の為替差損の計上となったことにより、経常損益は赤字となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高35億8千万円（前年同四半期比10.0%減）、営業利益3百万円（前年同四半期比79.5%減）、経常損失0百万円（前年同四半期の経常利益2千万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8百万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益6百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

(出版物・雑貨輸出事業)

前年不振に終わった音楽ソフトにつきましては、ネット事業者向けの商品ラインナップを強化したことによる受注増、新規顧客の獲得、アナログレコードも受注増など好調に推移、また、語学書につきましても提案の強化により受注増となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、北米を中心とする大学図書館の閉館が続いており商品の出荷ができない状態も継続していることマイナス要因が大きく減収となりました。

利益面では、原価率は利益率の高い商品群の増加により若干改善したものの減収の影響で売上総利益は減少、経費については新型コロナウイルス感染症の影響による展示会の出展及び海外出張の中止、システム関連経費の減少などで売上総利益の減少以上に削減でき、営業利益は増加しました。

その結果、当部門の売上高は6億4千5百万円（前年同四半期比8.1%減）、営業利益は4百万円（前年同四半期比72.1%増）となりました。

(洋書事業)

新型コロナウイルス感染症の影響により、新学期の英語テキストの追加注文が不振であったことに加え、授業の中止などによる影響で返品が急増、中国・東南アジアを中心とする留学生が入国できないことで日本語テキストの販売が不振、英会話学校や英語塾の対面での一部授業が中止となりテキスト受注が消失、書店店頭での売上不振などマイナス要因が大きく、新規取引先の拡大やオンライン英会話の生徒数拡大などでは補えず、減収となりました。

利益面では、減収に比例して売上総利益が減少、運賃を始めとする変動費の削減に加え、営業活動をオンライン中心に切り替え、出張経費等の圧縮に努めたものの補えず、営業損失は増加いたしました。

その結果、当部門の売上高は9億5百万円（前年同四半期比19.9%減）、営業損失は2千6百万円（前年同四半期の営業損失1千2百万円）となりました。

(メディア事業)

ネット事業者向けの販売は好調に推移、衛生関連商品の売上を確保、「鬼滅の刃」関連商品の売上も寄与いたしました。主力商材である輸入CDにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、郊外店では客足が戻りつつあるものの都心部の大手販売店の状況は厳しいことに加え、前年K-POPの大型新譜のリリースが相次いでなされたことに対する反動減の影響が大きく、減収となりました。ただし、K-POPは回復基調にあります。

利益面では、K-POPの価格競争が若干緩和されたことに加え、比較的利益率の高い商品群の売れ行きが好調であったことから、減収にもかかわらず売上総利益は前年を上回りました。対して経費は前年並みに抑制できたことから、営業利益は増加いたしました。

その結果、当部門の売上高は17億1千1百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益は7千万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

本社でのテナント事業は、満室稼働が継続しており、大きな修繕費用も発生していないことから堅調に推移いたしました。

その結果、当部門の売上高は3千7百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益は2千1百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億8千6百万円減少し、45億円となりました。

これは主に流動資産で受取手形及び売掛金が13億5百万円、前渡金が1億6千7百万円減少したことが要因です。大学等への英語テキストの春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が減少し、年間購読雑誌の仕入に係る前渡金が減少しております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億5千8百万円減少し、29億4千9百万円となりました。

これは主に流動負債で支払手形及び買掛金が12億6千万円、前受金が2億1千1百万円それぞれ減少したことが要因です。上述の大学等への英語テキストの仕入代金支払により支払手形及び買掛金が減少し、年間購読雑誌の出荷に係る前受金が減少しております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は15億5千1百万円となり前連結会計年度末に比べ2千8百万円減少しております。

これは主に配当金2千万円の支払いにより利益剰余金が減少したことが要因です。

以上の結果、自己資本比率は34.5%（前連結会計年度末は26.4%）となり、8.1ポイント増加しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2千3百万円増加し、7億4千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は6千6百万円（前年同四半期は1億7千4百万円の資金の減少）となりました。

これは主に法人税等の支払4千2百万円を行ったことに加え、売上債権が13億4百万円、前渡金が1億6千7百万円それぞれ減少し、仕入債務が12億5千6百万円及び前受金が2億1千1百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は4百万円（前年同四半期は5百万円の資金の減少）となりました。

これは主に有形固定資産の取得に1百万円、無形固定資産の取得に2百万円それぞれ支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は1億円（前年同四半期は1億6百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、資金の安定化を図るため長期借入1億2千7百万円（純額）を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点ではその影響の大きさや期間を見積ることは非常に困難な状況のため未定とさせていただきます、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	721,266	744,768
受取手形及び売掛金	2,571,611	1,266,322
商品及び製品	1,307,349	1,263,023
貯蔵品	33	34
前渡金	282,460	114,548
その他	46,418	62,064
貸倒引当金	△2,267	△1,326
流動資産合計	4,926,872	3,449,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	91,921	80,413
土地	667,900	667,900
リース資産(純額)	23,387	21,545
その他(純額)	7,868	7,881
有形固定資産合計	791,077	777,740
無形固定資産		
のれん	4,398	3,993
その他	38,761	33,886
無形固定資産合計	43,160	37,879
投資その他の資産		
投資有価証券	116,274	126,788
繰延税金資産	93,130	91,803
その他	23,421	23,377
貸倒引当金	△6,189	△6,187
投資その他の資産合計	226,636	235,781
固定資産合計	1,060,874	1,051,401
資産合計	5,987,747	4,500,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,275,832	1,015,685
短期借入金	855,168	879,204
リース債務	11,029	11,234
未払法人税等	38,628	17,446
前受金	400,513	188,600
賞与引当金	24,469	21,688
返品調整引当金	46,293	21,477
その他	193,741	129,314
流動負債合計	3,845,676	2,284,652
固定負債		
長期借入金	135,557	248,757
リース債務	17,885	15,054
退職給付に係る負債	180,755	173,610
再評価に係る繰延税金負債	187,998	187,998
その他	39,200	38,939
固定負債合計	561,398	664,362
負債合計	4,407,075	2,949,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,000	430,000
資本剰余金	195,789	195,789
利益剰余金	571,559	541,770
自己株式	△6,171	△6,171
株主資本合計	1,191,177	1,161,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,814	13,485
土地再評価差額金	425,975	425,975
為替換算調整勘定	△27,240	△35,524
退職給付に係る調整累計額	△15,054	△13,503
その他の包括利益累計額合計	389,494	390,433
純資産合計	1,580,672	1,551,822
負債純資産合計	5,987,747	4,500,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,978,931	3,580,690
売上原価	3,290,335	2,962,714
売上総利益	688,595	617,975
返品調整引当金戻入額	52,581	55,792
返品調整引当金繰入額	28,346	30,976
差引売上総利益	712,830	642,791
販売費及び一般管理費	694,847	639,108
営業利益	17,983	3,682
営業外収益		
受取配当金	2,729	980
貸倒引当金戻入額	975	935
為替差益	1,087	—
雇用調整助成金	—	7,455
その他	1,633	1,523
営業外収益合計	6,425	10,896
営業外費用		
支払利息	3,216	3,231
為替差損	—	11,012
その他	530	506
営業外費用合計	3,747	14,751
経常利益又は経常損失(△)	20,661	△172
特別損失		
固定資産除却損	48	0
特別損失合計	48	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,613	△172
法人税等	14,260	8,694
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,353	△8,867
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,353	△8,867

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,353	△8,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,452	7,671
為替換算調整勘定	△6,572	△8,283
退職給付に係る調整額	283	1,551
その他の包括利益合計	△4,836	939
四半期包括利益	1,516	△7,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,516	△7,927
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,613	△172
減価償却費	26,059	25,072
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△975	△935
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,950	△2,780
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,357	△7,144
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△24,235	△24,816
受取利息及び受取配当金	△2,732	△981
支払利息	3,216	3,231
固定資産除却損	48	0
為替差損益(△は益)	△163	△134
売上債権の増減額(△は増加)	1,351,066	1,304,260
たな卸資産の増減額(△は増加)	234,004	39,098
前渡金の増減額(△は増加)	180,856	167,911
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,587,838	△1,256,171
前受金の増減額(△は減少)	△250,128	△211,781
その他	△85,101	△56,765
小計	△136,901	△22,107
利息及び配当金の受取額	2,732	981
利息の支払額	△3,346	△3,403
法人税等の支払額	△36,855	△42,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	△174,371	△66,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,388	△1,682
無形固定資産の取得による支出	△3,210	△2,812
投資有価証券の取得による支出	△389	△395
投資有価証券の分配による収入	—	938
その他	△531	△942
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,521	△4,894
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,090,000	1,350,000
短期借入金の返済による支出	△1,090,000	△1,350,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△79,818	△72,266
リース債務の返済による支出	△6,412	△5,990
配当金の支払額	△20,124	△21,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,355	100,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,350	△5,444
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△289,598	23,515
現金及び現金同等物の期首残高	708,062	720,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	418,464	743,909

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	出版物・雑貨 輸出事業	洋書事業	メディア事業	不動産賃貸事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	701,884	1,131,003	1,748,426	38,821	3,620,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	218,460	—	—	—	218,460
計	920,344	1,131,003	1,748,426	38,821	3,838,595
セグメント利益又は損 失(△)	2,814	△12,465	69,140	21,544	81,034

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	358,795	3,978,931	—	3,978,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	142	218,602	△218,602	—
計	358,937	4,197,533	△218,602	3,978,931
セグメント利益又は損 失(△)	△18,542	62,491	△44,508	17,983

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△44,508千円はセグメント間取引消去△4,984千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△39,523千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	出版物・雑貨 輸出事業	洋書事業	メディア事業	不動産賃貸事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	645,205	905,444	1,711,626	37,688	3,299,966
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203,138	—	—	—	203,138
計	848,344	905,444	1,711,626	37,688	3,503,104
セグメント利益又は損 失(△)	4,844	△26,999	70,363	21,863	70,072

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	280,724	3,580,690	—	3,580,690
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,393	205,532	△205,532	—
計	283,118	3,786,222	△205,532	3,580,690
セグメント利益又は損 失(△)	△21,561	48,510	△44,828	3,682

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△44,828千円はセグメント間取引消去△7,908千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36,919千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。